計画の体系図

基本理念	基本目標	→	行動目標	ねらい
気づき、つながり、届き、支え合う、たつせがあるまち、なかくて	1 気づく	→	1 お互いに気かけあう気持ちを持つよう	「気かける」ことから始める、お互い様の地域をつくります。
			2 おせっかいをしよう	気になる人に声をかける、困りごとや悩みごとを発見したら適切な機関につなぐなど、できることをやるという気持ちを育みます。
	2 つながる	→	3 「楽しい」でつながろう	ウェル・ビーイングの実現に向け、自分が楽しくつながる地域をつくります。
			4 それぞれ好きな形でつながろう	「こんなことをしたい」の声を応援し、多様な形で活動する人のつながりをつくります。
			5 お互いのことを知っておこう	困りごとがあるときや災害時に備え、身近な地域や関係する市民・団体などと顔が見える関係を築きます。
	3 届ける	→	6 困っている人のために、なにができるか考えよう	地域の困りごとを共有し、市・社協・市民活動団体等とともに、市民一人一人ができることを考える場づくりを進めます。
			7 オール長久手で安心を届けよう	「生きづらさ」を抱える人を全力で支援するために、行政と市民などで協力し、連携できる体制と仕組みを構築します。
			8 高齢者・障がい者の権利を守ろう (権利擁護支援計画)	判断能力に不安がある人も住み続けられるよう制度を周知し、支援を届けます。
	4 支え合う	→	9 「困った」と言える関係をつくろう	災害時のみならず、普段から「困ってる」「助けて」が気軽に言える人づくり、関係づくりを進めます。
			10 お互いさまの気持ちを持つよう	助ける人、助けられる人という関係性でなく、お互いさまの文化が循環する地域をつくります。
	5 たつせがある	→	11 一人ひとりの価値観を認めあおう	様々な人が暮らす地域で支え合いの意識を育み、一人一人の多様な価値観が尊重されるまちをつくります。
			12 役割と居場所を大切にしよう	誰もが役割をもち、生きがいを感じられる居場所づくりを応援することで、豊かで自分らしく、孤立しない地域をつくります。
			13 若いまちらしさを発揮しよう	若い世代が地域に参加する魅力を発信し、活気がある活動を応援します。
			14 誰も孤立しないまちにしよう (再犯防止推進計画)	犯罪や非行から立ち直ろうとしている人を含めて、すべての人が安心して暮らすことができる地域を目指します。